

令和6年度

## 鳥取県図書館協会 定期総会

日時：令和6年6月26日（水）午後1時30分から午後2時50分まで

会場：米子市立図書館 2階 多目的研修室

### － 日 程 －

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

- (1) 令和6年度人事異動等に伴う役員の退任・就任について
- (2) 令和5年度の鳥取県図書館協会の他機関との連携状況について
- (3) 令和6年度市町村支出金要請等に係る鳥取県市町村法令外負担金等審議会受審結果について
- (4) 協会主催事業へ無料で参加できる施設・団体会員の人員数について
- (5) その他

4 審議事項

- (1) 議案第1号 令和5年度事業報告案及び決算案について（監査報告）
- (2) 議案第2号 令和6年度事業計画案及び予算案について
- (3) その他

5 そ の 他

6 閉 会

## 令和6年度 鳥取県図書館協会 役員名簿

〔任期：令和7年6月30日まで〕

役 職	氏 名	所 属 等	鳥取県読書 推進運動協議 会役職	鳥取県社会 教育協議会	備考
会 長	齋藤 明彦	個人会員	会長	理事	
副会長	西尾 麻都子	鳥取県立図書館長	副会長	委 員	新任
”	長本 次郎	鳥取市立中央図書館長	理 事	(委 員)	
”	嘉賀 收司	境港市民図書館長	”	委 員	
”	田中 葉子	北栄町図書館長	”	委 員	
理 事	深澤 義彦	市長会長（鳥取市長）	”		
”	吉田 英人	町村会代表（八頭町長）	”		
”	永瀬 良太	米子市立図書館長	”		
”	田村 美香	倉吉市立図書館長	”		
”	山本 勘次郎	わかさ生涯学習情報館長	”		
”	小谷 孝	鳥取県学校図書館協議会会長 （倉吉市立西中学校長）	”		
”	砂流 誠吾	鳥取県学校図書館協議会 （日野町立日野学園校長）	”		
”	竹内 善一	鳥取県学校図書館協議会副会長 （県立倉吉農業高等学校長）	”		
”	岡田 太	鳥取大学附属図書館長	”		
”	田中 信恵	鳥取県私立幼稚園・認定こども園協会 （鳥取ルーテル幼稚園長）	”		
”	池田 緑	がらがらどん代表	”		
”	林 一郎	鳥取県書店商業組合理事長	”		
”	児島 陽子	個人会員	”		
”	小林 みちる	個人会員	”		
監 事	角田 有希子	南部町立図書館長	監事		
監 事	竹内 学	ちえの森ちづ図書館長	監事		

### 3 報告事項

#### (1) 令和6年度人事異動等に伴う役員の退任・就任について

令和6年度の人事異動により、役員に交代がありましたので報告します。

任期 令和7年6月30日まで（前任者の在任期間）

役職	氏名	所属等
副会長	(旧) 小林 隆志	鳥取県立図書館長
	(新) 西尾 麻都子	鳥取県立図書館長

(2) 令和5年度の鳥取県図書館協会の他機関との連携状況について

【共催事業】

ア ブックインとっとり2023

展示：令和5年11月1日（水）～11月8日（水）

会場：境港市民図書館

依頼者：ブックインとっとり実行委員会

イ 第36回地方出版文化功労賞受賞記念講演会

期日：令和5年11月4日（土）

依頼者：ブックインとっとり実行委員会

ウ 鳥取県子どもの読書推進事業 中学生・高校生ポップコンテスト

募集：令和5年8月1日（火）～9月29日（金）

依頼者：鳥取県教育委員会事務局社会教育課

【後援事業】

ア 全国高等学校ビブリオバトル2023鳥取県大会

期日：令和5年12月10日（日）

依頼者：鳥取県立図書館

イ 第42回とっとり読書絵てがみ・感想文コンクール

募集：令和5年11月1日（木）～令和6年1月19日（火）

依頼者：鳥取県学校図書館協議会、新日本海新聞社

ウ 第4回小さな今井大賞

募集：令和6年1月5日（金）～6月21日（金）

依頼者：今井印刷株式会社

【参加事業】

ア 令和5年度鳥取県社会教育協議会総会及び研修会

期日：令和5年6月22日（木）

出席者：山田会長、嘉賀副会長、田中副会長

イ 令和5年度市町村・社会教育関係団体連携協議会

期日：令和5年8月4日（金）

出席者：岩崎（事務局）

ウ 令和5年度鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会

期日：令和5年11月24日（金）

事例発表：齋藤会長

出席者：小林副会長、高橋（事務局）

エ 令和5年度全県社会教育関係者研修会

期日：令和6年2月13日（火）

出席者：嘉賀副会長、田中副会長

(3) 令和6年度市町村支出金要請等に係る鳥取県市町村法令外負担金等審議会受審結果について

(鳥取県市町村法令外負担金等審議会)

市町村に対して法令に基づかない負担金等を要望される団体は、必要書類を提出し、審議会のヒアリングを経た上で、金額が決定。鳥取県図書館協会も該当団体。

1 日時

令和5年10月26日(木)、午後3時30分から午後3時35分

2 会場

鳥取市役所 市民交流センター2階「多目的室1」(鳥取市幸町71)

3 出席者

審議会：各市の財政担当課長、鳥取県町村会正副会長町の各総務課長、鳥取県市長会、鳥取県町村会、東部町長会、中部町村会及び西部町村会事務局長(計13名)  
図書館協会：松軒、岩崎

4 概要

事前に審議会事務局から以下の要請あり。

5分以内で、以下3点について説明を行うこと、全体の事業概要については省略すること。

- (1) 新型コロナウイルスによる事業の執行状況及び余剰金の活用方法について
- (2) 要請額がどうしても必要なのか、事業の目的や必要性、見直しの状況について
- (3) 要請額、事業内容が、昨年度と異なる場合は、変更点について

提出済み資料(別添参照)により説明。

- (1) 令和5年度事業費の執行状況を説明、余剰金は、令和4年度事業で大半が執行済み。
- (2) 本協会は市町村立図書館、大学等図書館、ボランティア団体等が加入する読書推進・図書館振興のための組織であり、幅広く会員向けの研修や視察等の機会を提供することが必要。入会や大会参加費等で収入増を目指す、安定した財政基盤として市町村の負担金が必要。令和6年度は大会予算減など、実情に合わせてメリハリを付けている。
- (3) 昨年度との変更点はなし。

その後の質疑応答はなし。

5 令和6年度市町村支出金承認額(令和5年11月14日付通知有)

122千円

#### (4) 協会主催事業へ無料で参加できる施設・団体会員の人員数について

##### 1 経緯

令和6年2月21日に開催した令和5年度第2回理事会において、田村理事（倉吉市立図書館）から「図書館協会主催事業への参加について施設会員は1名無料となっているが、大会や視察を研修の場として使いやすくするため、2名程度とならないか検討してほしい」というご意見をいただいた。

##### 2 関連する規定

別添：鳥取県図書館協会会費規程を参照

―抜粋―

###### 第2条の2

2 施設会員及び団体会員は、「協会ニュース」を配布されるとともに、全国図書館大会その他の事業に参加する場合は予算の範囲内で、各施設または団体の1名を対象に助成を受けることができる。また、鳥取県図書館協会主催の事業について、各施設または団体の1名を対象に原則として無料で参加できる。

##### 3 事務局としての考え方

現状のとおり、施設または団体1名を対象に無料で参加できることとしたい。

<理由>

施設・団体会員所属者の無料参加枠を増やすことは、個人会員減につながる可能性が高く、協会の経営にも支障をきたす恐れがあるため。

協会としては、市町村からの負担金等に頼ることなく、個人会員を中心とする自立した運営を目指したいと考えている。

## 4 審議事項

### (1) 議案第1号 令和5年度事業報告案及び決算案について

#### 1 理事会

##### <第1回理事会>

期日：令和5年5月26日（金）

会場：県立図書館 大研修室（鳥取市尚徳町101）

＝内容＝

- (1) 役員構成変更及び会則改正について
- (2) 令和5年度任期満了に伴う会長・副会長の選任について
- (3) 令和4年度事業報告案及び決算案について（監査報告）
- (4) 令和5年度事業計画案及び予算案について

##### <第2回理事会>

期日：令和6年2月21日（水）

会場：県立図書館 大研修室（鳥取市尚徳町101）

＝内容＝

- (1) 令和5年度事業報告案及び決算見込みについて
- (2) 令和6年度事業計画案及び予算案について

#### 2 定期総会

期日：令和5年6月22日（木）

会場：倉吉交流プラザ 第1研修室

<総会内容>

- (1) 役員構成変更及び会則改正について
- (2) 令和5年度任期満了に伴う会長・副会長の選任について
- (3) 令和4年度事業報告案及び決算案について（監査報告）
- (4) 令和5年度事業計画案及び予算案について

#### ※総会終了後に研修会を実施 資料1

演題：読解力低下問題と図書館利用のススメ、倉吉東高国際バカロレアと図書館

講師：御船 斎紀 氏（鳥取短期大学教授、放送大学鳥取学習センター客員教授）

参加者：31名

#### 3 第28回鳥取県図書館大会（担当：東部地区の会員等） 資料2

(1) 期日：令和5年8月1日（火）

(2) 会場：とりぎん文化会館、鳥取県立図書館

(3) 参加対象：参加を希望する県民、県内公共図書館関係者、  
県内学校図書館関係者、幼稚園・保育園関係者、  
家庭文庫・読み聞かせボランティア等読書推進関係者 ほか

(4) 内容：講演、分科会

参加者：282名（会場：217名、オンライン65名）

※会員外のオンライン参加者からも資料代を徴収

※分科会の1つを外部団体（NPO本の学校）が企画・運営

※山田節子さん おはなし会&講演会「わたしと本と図書館と」

(1) 期日：令和6年1月12日(金)

(2) 会場：鳥取県立図書館

参加者：82名(会場：67名 オンライン：15名)

**4 県内図書館視察(担当：中部地区の会員等)** 資料3

(1) 期日：令和5年11月13日(月)

(2) 視察先：県立倉吉東高等学校、北栄町図書館、北栄町立北条中学校

参加者：19名

**5 県外研修会参加費等助成事業** 資料4

(1) 第109回全国図書館大会

主催：公益社団法人日本図書館協会

開催地：岩手県(盛岡地域交流センターほか)

開催日：令和5年11月16日(木)、17日(金)

助成金額：50,000円(1名)

(2) 図書館総合展

主催：図書館総合展運営委員会

開催地：神奈川県(パシフィコ横浜)

開催日：令和5年10月24日(火)、25日(水)

助成金額：48,000円(1名)

※協会ニュースNo. 107(令和6年3月発行予定)に報告を掲載

**6 「協会ニュース」の発行(担当：西部地区の会員等)**

協会の広報紙を年4回発行

No. 104

【p. 1】会長あいさつ

【p. 2~p. 3】子供の読書活動優秀実践文部科学大臣表彰

○江府町立奥大山江府学園

○北栄町立北条中学校

○鳥取県立倉吉総合産業高等学校

○大山町立図書館

【p. 4】県内図書館・学校図書館の取組/その後報告

○電子書籍導入(鳥取市立中央図書館)

○学校図書館の取組(南部町立会見小学校)

【p. 5~p. 6】第6回エピソード大賞の報告

【p. 7】各種報告・募集・ご案内など

○県外研修会参加等助成

○会員継続のお願い

【p. 8】図書館人ハンドブックシリーズ28

○米子市立図書館 永瀬 良太 館長

○鳥取県立智頭農林高等学校図書館 藤原 拓也 司書

○鳥取県立図書館 下田 奈津子 司書



**No. 105**

- 【p. 1】 図書館協会新会長あいさつ
- 【p. 2】 図書館協会前会長あいさつ
- 【p.2～6】 第28回 鳥取県図書館大会 報告
- 【p. 6】 新しい移動図書館車の紹介
- 【p. 7】 定期総会・研修会の報告
- 【p. 8】 図書館人ハンドブックシリーズ29
  - 鳥取市立用瀬図書館 太田 潤一 館長
  - 倉吉市立図書館 田村 美香 館長
  - 鳥取大学附属図書館 大園 岳雄 課長

**No. 106**

- 【p. 1】 全国優良読書グループ受賞「岩美みんなを語る会」
- 【p. 2】 県内図書館視察報告
- 【p. 3】 ブックインとっとり2023を終えて
- 【p. 4】 北栄町図書館・本館建設30周年記念 図書館カーニバル2023
- 【p. 5】 気高図書館20周年を迎えて
- 【p. 6】 「高校生におすすめする本2023」「図書館へ行こう！キャンペーン」
- 【p. 7】 第7回「本、書店、図書館にまつわるエピソード大賞」山田節子さんおはなし会&講演会
- 【p. 8】 図書館人ハンドブックシリーズ30
  - 八頭町立図書館 田中 義之 館長
  - 日南町図書館 福田 範子 館長
  - 鳥取県書店商業組合 林 一郎 理事長

**No. 107**

- 【p. 1】 報告山田節子さんおはなし会&講演会『わたしとホント図書館と』
- 【p. 2】 ビブリオバトル2023鳥取県大会報告
- 【p. 3】 『人とまちと図書館』（境港市民図書館）  
『レールトイin図書館』（北栄町図書館）
- 【p. 4】 鳥取県立図書館電子書籍サービススタート！
- 【p. 5】 ありんこの歩み（倉吉市立図書館）  
布絵本ちくちく教室（伯耆町溝口図書館）
- 【p. 6】 「第25回図書館総合展報告」
- 【p. 7】 第109回全国図書館大会報告  
令和6年度会員継続のお願い
- 【p. 8】 図書館人ハンドブックシリーズ31
  - 大山町立図書館 徳永 貴 館長
  - 公立鳥取環境大学情報メディアセンター 齊藤 明紀 センター長
  - ちえの森ちづ図書館 大谷 伊知郎 館長補佐

## 7 第7回「本、書店、図書館にまつわるエピソード大賞」（担当：中部地区の会員等）

図書館や書店、本などに関わる心温まるエピソードを募集し、最優秀賞、部門賞、優秀賞（合計7名程度）を決定し表彰する。集まったエピソードを活用し、図書館の魅力を発信し、読書推進の機運を喚起する。

### (1) 審査結果について

賞	タイトル	受賞者
大賞	人生を教えてくれた場所	鈴木 真由美
優秀賞	図書館は憩いの場	岡本 あおい
優秀賞	音を書く	栃本 歩美
書店部門賞	POP から広がる世界	田中 陽菜
図書館部門賞	すごい！	谷口 由佳
小中学生部門賞	図書館でのマイルール	岸 優吾
本部門賞	おじいちゃん、ありがとう	下吉 素子

### (2) 賞及び副賞

- ・大賞（賞状、図書カード1万円） 1名以内
- ・優秀賞（賞状、図書カード3千円） 2名以内
- ・部門賞（賞状、図書カード2千円） 4名以内（本、書店、図書館、小中学生）

### (3) 応募数の推移

部門別	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
書店部門	24	15	9	3
図書館部門	47	33	21	12
小中学生部門	3	14	1	0
本部門	105	54	16	12
不明（記載なし）	—	17	—	—
合計	179	133	47	27

## 令和5年度 鳥取県図書館協会一般会計収支決算書（案）

（収入の部）

（単位 円）

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 引 (B-A)	摘 要
<b>1 会 費</b>	495,000	515,000	20,000	
県立図書館	60,000	60,000	0	60,000円×1館
市立図書館 町村立図書館	121,500	121,500	0	18,000円×2館、9,000円×2館 4,500円×15館
大学図書館 学校図書館協議会 その他団体	35,500	35,500	0	○2大、看短、高専、3学校協議会 4,500円×7 ○米子市児童文化センター、男女共 同参画センター 2,000円×2
個人	260,000	282,000	22,000	129名
団体	18,000	16,000	△ 2,000	県書店商業組合、江府図書館友の会、 学校法人鶏鳴学園 青翔開智中学校・高 等学校、ねえよんでの会、図書館フレ ンズけたか、鳥取家庭文庫連絡会、本 の学校、くれよんの会 2,000円×8団 体
<b>2 寄 付 金</b>	40,000	40,000	0	読書推進運動協議会助成金
<b>3 雑 収 入</b>	35,002	113,322	78,320	
受取活動費	30,000	30,000	0	日本図書館協会
会員外収入	5,000	83,320	78,320	会員外の図書館大会資料代 (会員外参加157名)
預金利息	2	2	0	
<b>4 繰 越 金</b>	160,986	160,986	0	
<b>合 計</b>	730,988	829,308	98,320	

（支出の部）

（単位 円）

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 引 (A-B)	摘 要
<b>1 会 議 費</b>	50,000	26,014	23,986	
理事会費	30,000	15,539	14,461	理事の旅費等
総会費	20,000	10,475	9,525	総会後研修会講師等旅費
<b>2 事 業 費</b>	635,000	569,234	65,766	
鳥取県図書館大会（第28回）	420,000	365,725	54,275	会場使用料、講師謝金、その他消耗品等
県内図書館視察	60,000	50,480	9,520	バス（1日借上分）、土産代
全国大会・研修会派遣費	100,000	99,760	240	全国図書館大会等派遣費 ・第109回全国図書館大会5万 ・図書館総合展4.8万
発掘！図書館エピソード大賞	55,000	53,269	1,731	受賞者報償物品（図書カード）、広 報費、雑費等
<b>3 事 務 局 費</b>	40,000	80,423	△ 40,423	協会ニュース用紙・発送代、会費振 込手数料、封筒代等
<b>4 予 備 費</b>	5,988	0	5,988	
<b>合 計</b>	730,988	675,671	55,317	

収支決算

収入額	支出額	差引残額
829,308	675,671	153,637

令和6年度へ繰越

# 監 査 報 告 書

令和5年度鳥取県図書館協会の会計監査を行いましたので、その結果を次  
のとおり報告いたします。


出納帳簿、証拠書類等を厳正に精査したところ、適正かつ確実に執行されてい  
ることを確認しました。

令和6年 6 月 17 日

鳥取県図書館協会  
会長 齋藤 明彦 様

鳥取県図書館協会

監 事 角田 有希子 

監 事 竹内 学 

(2) 議案第2号 令和6年度 事業計画案及び予算案について

令和6年度 事業計画 (案)

1 理事会

＜第1回理事会＞

期日：令和6年6月5日(水)

会場：県立図書館 大研修室(鳥取市尚徳町101)

＝内容＝

- (1) 令和6年度人事異動等に伴う役員の退任・就任について
- (2) 令和5年度事業報告案及び決算案について(監査報告)
- (3) 令和6年度事業計画案及び予算案について

＜第2回理事会＞

期日：令和7年2月中旬頃を予定

会場：県立図書館 大研修室(鳥取市尚徳町101)

＝内容＝

- (1) 令和6年度事業報告案及び決算見込みについて
- (2) 令和7年度事業計画案及び予算案について

2 定期総会

期日：令和6年6月26日(水)

会場：米子市立図書館 多目的研修室

＜総会内容＞

- (1) 令和6年度人事異動等に伴う役員の退任・就任について
- (2) 令和5年度事業報告案及び決算案について(監査報告)
- (3) 令和6年度事業計画案及び予算案について

※総会終了後に研修会を実施予定(担当：西部地区の会員等)

講師：鈴木ふみさん(境港市在住、作家、元カニジルブックストア店長)

演題：『作家の立場からみる図書館や書店～本に携わる仕事を通じて～』

定員：80名(会員外の参加も可とする、協会の活動について紹介する)

3 第29回鳥取県図書館大会(担当：中部地区の会員等) 資料5

(1) 期日：令和6年7月31日(水)

(2) 会場：エスパック未来中心、倉吉交流プラザ

(3) 参加対象：参加を希望する県民、県内公共図書館関係者、  
県内学校図書館関係者、幼稚園・保育園関係者、  
家庭文庫・読み聞かせボランティア等読書推進関係者 ほか

(4) 内容：講演、事例発表、分科会

＜鳥取県図書館大会の事務負担軽減策として次の2点を提案＞

1. 参加受付のためのGoogle アカウント作成について

令和5年度は参加受付を、わかさ生涯学習情報館と申込フォームの作成の事務局で行ったため、名簿作成のためのやり取りが煩雑になった。協会のGoogle アカウントを作成し、受付館と共有することで申込状況の一元管理を図る。

また、フォームやドライブの機能を生かし、日程調整やファイル共有、各種連絡など、事務局業務の効率化を図る。

2. 資料代として徴収していた500円を、参加費として徴収することとする。

(エースパック未来中心の指定管理者である公益財団法人鳥取県文化振興財団には、この500円徴収することが営利目的事業には当たらないということについて事前確認済み)

(令和6年度)

- ・参加費として徴収
- ・オンライン参加者はデータもしくは紙資料を選択(紙資料の場合は送料も負担)
- ・オンライン参加者には、7月24日(水)までを目途にZoomの案内等を行う

	会場	オンライン
会員	無料(紙資料)	無料(データ送付 or 紙資料送付) ※送料は協会負担
会員外	有料(紙資料)	有料(データ送付 or 紙資料送付) ※送料は参加者負担

参考(令和5年度)

- ・資料代として徴収
- ・会員外のオンライン参加者には、振込確認後、資料を郵送

	会場	オンライン
会員	無料(紙資料)	無料(紙資料送付)
会員外	有料(紙資料)	有料(紙資料送付)

#### 4 県内図書館視察(担当:西部地区の会員等)

- (1) 期 日:令和6年11月25日(月)を予定
- (2) 集 合:米子市役所(正午)
- (3) 視察先:米子北高→ライトハウス点字図書館→境港市民図書館  
→米子市児童文化センター
- (4) 参加者数:大型バスの定員49名

#### 5 県外研修会参加費等助成事業 資料6

予算の執行状況を見ながら、助成人数や対象研修会を増やす等、会員の研修機会の確保に努める。

(助成研修会例)

- (1) 第110回全国図書館大会  
主催:公益社団法人日本図書館協会  
開催地:長崎県  
開催日:令和6年11月30日(土)~12月1日(日)
- (2) 令和6年度全国公共図書館研究集会サービス部門及び総合・経営部門  
主催:公益社団法人日本図書館協会公共図書館部会  
開催地:高知県
- (3) 図書館総合展  
主催:図書館総合展運営委員会  
開催地:神奈川県  
開催日:令和6年11月5日(火)~7日(木)

- (4) 令和6年度中国・四国地区図書館地区別研修  
主催：文部科学省  
開催地：広島県
- (5) 第44回全国学校図書館研究大会  
主催：全国学校図書館協議会  
開催地：香川県  
開催日：令和6年8月8日(木)～9日(金)
- (6) 準デジタル・アーキビスト資格取得講座  
主催：NPO法人日本デジタルアーキビスト資格認定機構  
方法：オンライン

## 6 「協会ニュース」の発行（担当：東部地区の会員等）

協会の広報紙を年4回（6月・9月・12月・3月）発行予定

協会ニュース第108号（5月発行分）

- ・令和6年度子供の読書活動優秀実践文部科学大臣表彰  
鳥取市立国府中学校、鳥取県立鳥取養護学校  
大山きゃらぼく保育園、鳥取市立中央図書館
- ・とっとりデジタルコレクションアクセス100万件超え
- ・会員継続のお願い
- ・「本、書店、図書館」にまつわるエピソード大賞
- ・障がい者サービスをめぐる鳥取県内の状況
- ・読書バリアフリー計画を策定して 倉吉市立図書館
- ・令和6年度図書館協会定期総会のお知らせ
- ・図書館人ハンドブック シリーズ29  
西尾麻都子県立図書館長、加登脇至琴浦町図書館長  
横田威開ヴィレステひえず施設長

## 7 第8回「本、書店、図書館にまつわるエピソード大賞」（担当：西部地区の会員等）

図書館や書店、本などに関わる心温まるエピソードを募集し、最優秀賞、部門賞、優秀賞（合計7名程度）を決定し表彰する。集まったエピソードを活用し、図書館の魅力を発信し、読書推進の機運を喚起する。

令和6年度 鳥取県図書館協会一般会計収支予算書（案）

（収入の部）

（単位 円）

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 額 (A-B)	摘 要
1 会 費	493,000	495,000	△ 2,000	
県立図書館	60,000	60,000	0	60,000円×1館
市立図書館 町村立図書館	121,500	121,500	0	18,000円×2館、9,000円×2館 4,500円×15館
大学図書館 学校図書館協議会 その他団体	35,500	35,500	0	○2大、看短、高専、3学校協議会 4,500円×7 ○米子市児童文化センター、男女共同 参画センター 2,000円×2
個人	260,000	260,000	0	2,000円×130名
団体	16,000	18,000	△ 2,000	県書店商業組合、江府図書館友の会、学校 法人鶏鳴学園 青翔開智中学校・高等学 校、ねえよんでの会、図書館フレンズけ たか、鳥取家庭文庫連絡会、本の学校、くれ よんの会 2,000円×8団体
2 寄 付 金	40,000	40,000	0	読書推進運動協議会助成金
3 雑 収 入	100,002	35,002	65,000	
受取活動費	30,000	30,000	0	日本図書館協会
会員外収入	70,000	5,000	65,000	会員外の図書館大会参加費 500円×140名
預金利息	2	2	0	
4 繰 越 金	153,637	160,986	△ 7,349	
合 計	786,639	730,988	55,651	

（支出の部）

（単位 円）

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 額 (A-B)	摘 要
1 会 議 費	50,000	50,000	0	
理事会費	30,000	30,000	0	理事の旅費等
総会費	20,000	20,000	0	総会后研修会講師等旅費等
2 事 業 費	648,000	635,000	13,000	
鳥取県図書館大会（第2 9回）	400,000	420,000	△ 20,000	会場使用料、講師謝金、手話通訳・要 約筆記派遣費等
県内図書館視察	93,000	60,000	33,000	バス（中型バス1日借上分）、土産代 等
全国大会・研修会派遣費	100,000	100,000	0	全国図書館大会等派遣費 事業計画に挙げた大会等を候補とした 枠予算
発掘！図書館エピソード大 賞	55,000	55,000	0	受賞者報償物品（図書カード）、広報 費、雑費等
3 事 務 局 費	50,000	40,000	10,000	協会ニュース用紙・発送代、会費振込 手数料等
4 予 備 費	38,639	5,988	32,651	
合 計	786,639	730,988	55,651	



## 鳥取県図書館協会会則

(名称)

第1条 本会は、鳥取県図書館協会という。

(事務所)

第2条 本会の事務局は、鳥取県立図書館に置く。

(目的)

第3条 本会は、県内の公共図書館、高専・短大・大学図書館、学校図書館及び幼稚園、保育園、読書団体等の連絡連携のもとに図書館の発展を図り、鳥取県の文化の向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 図書館活動の振興に関すること。
- (2) 図書館活動に関する調査研究及び普及に関すること。
- (3) 図書館関係職員の研修に関すること。
- (4) 読書運動の推進に関すること。
- (5) 図書館相互の情報交換に関すること。
- (6) その他必要な事業

(会員)

第5条 本会は、施設会員、個人会員、学生会員及び団体会員をもって構成する。

- 2 施設会員は、県内の公共図書館、高専・短大・大学図書館、学校図書館協議会及びこれら以外の施設・団体のうち図書館の機能を有するものとする。
- 3 個人会員は、本会の趣旨に賛同する個人とする。
- 4 学生会員は、本会の趣旨に賛同する個人で大学等で学んでいる者とする。
- 5 団体会員は、本会の趣旨に賛同する団体とする。

(入会及び退会)

第6条 この会に新たに入会しようとするものは、所定の申込書に会費を添え会長に申し込むものとする。

- 2 会を退会しようとするものは、会長に届け出るものとする。また、個人会員の場合、会費の払い込みがない場合は、退会をしたものと見なす。

(役員)

第7条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長
- (2) 副会長 4名
- (3) 理 事 若干名
- (4) 監 事 2名

(役員を選出)

第8条 会長及び副会長は、総会で選出する。

- 2 前項の規定にかかわらず、副会長のうち1名は、鳥取県立図書館の館長をもって充てることとする。
- 3 理事及び監事は、会長が委嘱する。

(役員任期)

第9条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠による役員任期は、前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第10条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

なお、軽易な事務の処理については、会長に代わって鳥取県立図書館長である副会長が決裁でき

るものとする。

3 理事は、会務を執行する。

4 監事は、業務及び会計を監査する。

(会長専決)

第11条 会長は、総会の決議を要する事項であっても、特に緊急の必要があり、なおかつ総会を招集することができない場合には専決処分をすることができる。ただし、その範囲は事業及び予算とする。

2 前項により専決処分した事項については総会で報告し、承認を受けなければならない。

(会議)

第12条 本会の会議は、総会及び理事会とする。

(総会)

第13条 総会は、定期総会と臨時総会とする。

2 定期総会は、毎年1回これを開く。

3 臨時総会は、会長が必要と認めたとき、これを開く。

4 総会の議事の成立は、出席者の過半数以上の同意をもって決め、可否同数のときは、議長の決めるところによる。総会は会長が招集し、構成員の出席により開催するが、やむを得ない理由により開催できない場合は、あらかじめ通知された事項について書面または電磁的方法をもって審議決定に代えることができる。

5 総会は、次の事項を審議決定する。

(1) 事業及び予算

(2) 決算

(3) 会則の改正

(4) その他必要な事項

(理事会)

第14条 理事会は、会長、副会長及び理事をもって構成する。

2 理事会は、会長が必要と認めたとき、又は理事の3分の1以上の要求があったとき、会長が召集する。

3 理事会は、次の事項を審議する。

(1) 総会に提出する議案

(2) 総会から付託された事項

(3) その他必要な事項

4 理事会の議事の成立は、前条第4項の規定を準用する。

(部会)

第15条 本会の事業を推進するため、必要に応じて部会を設けることができる。

2 部会に関する規程は、別に定める。

(経費)

第16条 本会の経費は、次のものをもって充てる。

(1) 会費

(2) 分担金、補助金、寄付金

(3) その他の収入

2 会費に関する規程は、別に定める。

(会計年度)

第17条 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(細則)

第18条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要な細則の制定及び改廃は、理事会の承認を経て会長が定める。

附 則  
この会則は、平成2年12月5日から施行する。

附 則  
この会則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則  
この会則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則  
この会則は、平成25年7月1日から施行する。

附 則  
この会則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則  
この会則は、令和2年6月12日から施行する。

附 則  
この会則は、令和4年7月13日から施行する。

附 則  
この会則は、令和5年6月22日から施行する。

## 鳥取県図書館協会会費規程

(目的)

第1条 鳥取県図書館協会会則第16条の規定に基づき、会費を定める。

(会費)

第2条 会費の額は、会員の区分に応じて次の各号のとおりとする。

(1) 施設会員

ア 県立図書館 年額6万円

イ 市立図書館

(ア) 人口10万人以上の市 年額1万8千円

(イ) 人口10万人未満の市 年額9千円

ウ 町村立図書館 年額4千5百円

エ 小・中・高等学校各学校図書館協議会及び高専・短大・大学図書館 年額4千5百円

オ アからエ以外の施設・団体のうち図書館の機能を有するもの 年額2千円

(2) 個人会員 年額2千円以上

(3) 学生会員 年額1千円

(4) 団体会員 年額2千円

2 前項の規定にかかわらず、鳥取県市町村法令外負担金等審議会の審査の結果、市町村立図書館の会費に係る予算額が変更された場合には、当該予算額を会費の額とする。

第2条の2 個人会員は、「協会ニュース」を配布されるとともに、全国図書館大会その他の事業に参加する場合は予算の範囲内で助成を受けることができる。また、鳥取県図書館協会主催の事業に原則として無料で参加できる。

3 施設会員及び団体会員は、「協会ニュース」を配布されるとともに、全国図書館大会その他の事業に参加する場合は予算の範囲内で、各施設または団体の1名を対象に助成を受けることができる。また、鳥取県図書館協会主催の事業について、各施設または団体の1名を対象に原則として無料で参加できる。

4 学生会員は、「協会ニュース」を配布される。また、鳥取県図書館協会主催の事業に原則として無料で参加できる。

(会費の納入)

第3条 会費は、毎年7月までに納入するものとする。

附 則

この規程は、平成2年12月5日から施行し、平成3年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行し、同日から適用する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行し、同日から適用する。

附 則

この規程は、平成25年7月1日から施行し、同日から適用する。

附 則

この規程は、平成28年6月29日から施行し、平成28年度分の会費から適用する。

附 則

この規程は、令和4年7月13日から施行する。

## 令和5年度 鳥取県図書館協会研修会開催要項

現代社会では、情報量が爆発的に増加し、情報を理解し、自分の意見を形成するための読解力がますます重要になっています。しかし、現代の若者たちは、SNSやネット上のテキストなど、短く簡潔な文章に慣れすぎているため、長文や難解な文章に苦手意識を持ってしまう傾向があると言われています。

本研修会では、読解力低下問題における図書館の役割について、長年教育現場に携わり、現在鳥取短期大学及び放送大学鳥取学習センターの教授を務める御松齋紀氏にお話しいただきます。また、倉吉東高校の校長として国際バカロレアの導入に携わられた経験を踏まえて、国際バカロレアにおける学校図書館の重要性についても紹介していただきます。

- 1 演題 読解力低下問題と図書館利用のススメ、倉吉東高国際バカロレアと図書館
- 2 講師 御松 齋紀 氏 (鳥取短期大学教授、放送大学鳥取学習センター客員教授)

## 【プロフィール】

1985年鳥取県立高等学校教諭となり、1999年から鳥取県教育委員会事務局高等学校課指導主事、同管理主事、鳥取県立高等学校教頭、鳥取県教育委員会事務局高等学校課長等教育行政職を経て2016年から鳥取県立鳥取中央育英高等学校長、2018年から鳥取県立倉吉東高等学校長、2020年定年退職。同年4月より、放送大学鳥取学習センター客員准教授。

現在、鳥取短期大学生活学科食物栄養専攻教授。放送大学鳥取学習センター客員教授。

専門は国語教育、教育学

- 3 日時 令和5年6月22日(木) 午後3時～午後4時30分

13:00	13:30	15:00	16:30
受付	定期総会	研修会	閉会

研修会は定期総会終了後に開催します。

予定時刻より多少前後することがありますのでご了承ください。

- 4 会場 倉吉交流プラザ 第1研修室(倉吉市駄経寺町187-1 電話:0858-47-1181)
- 5 参加対象 鳥取県図書館協会 会員
- 6 定員 50人
- 7 参加申込 必要。別添の申込書に記入の上、6月15日(木)までに申込みください。
- 8 申込先

鳥取県図書館協会企画委員会 担当(町立みささ図書館長 毛利)

〒682-0195 三朝町大瀬 999-2

電話:0858-43-1145、ファクシミリ:0858-43-1343

電子メール:j-mouri@town.misasa.tottori.jp

- 9 問合せ先

鳥取県図書館協会事務局(鳥取県立図書館内)研修会担当(野沢・岩崎)

電話:0857-26-8155

## ■感染症対策のお願い

熱のある方、体調のすぐれない方は、参加を控えていただくようお願いいたします。  
会場に消毒用アルコールを設置します。手指消毒をしていただくようお願いいたします。  
会場の換気、距離を確保した座席の配置を行います。

## 定期総会・研修会報告

日時:令和5年6月22日(木) 午後1時30分から午後4時30分まで 会場:倉吉交流プラザ 第1研修室

### 定期総会

#### <審議事項>

#### ■役員構成変更及び会則改正について

副会長を各地区1名選出の4名(うち1名は県立図書館長が宛職)体制とする。

#### -承認-

#### ■令和5年度任期満了に伴う会長・副会長の選任について

推薦・立候補なし、下記事務局案を提示

会長:齋藤 明彦 様、副会長:鳥取県立図書館長 小林隆志 様、鳥取市立中央図書館長 長本次郎 様、境港市市民図書館長 嘉賀収司 様、北栄町図書館長 田中葉子 様

#### -承認-

#### ■令和5年度事業計画案及び予算案について

#### (質疑応答)

・図書館大会分科会の外部団体の参画について、会場費や機器費用など、ある程度、体力(資金)のある団体でないと受けられないように思う。会場費等の半額補助などの考えはあるか。

→(事務局)本年度、初の試みであり、実施案としている。開催後にご意見いただきながら、参画しやすい環境等の検討を進めたい。

#### -承認-

#### ■その他

#### (質疑応答)

・定期総会の開催通知が届いていない会員がいる。事務局としてどのように考えているか。

→(事務局)メールアドレスを登録いただいている方には事前にメールでご案内した。これまで6月発行の協会ニュースでご案内してきたが、今回は間に合わず、大変申し訳なかった。お詫びしたい。今後は、定期総会の案内は協会ニュースと別にして会員に確実にお知らせできるようにしたいと考えている。

### 研修会

令和5年6月22日(木)、倉吉交流プラザを会場に研修会を開催しました。御船斎紀氏(鳥取短期大学教授、放送大学鳥取学習センター客員教授)に「読解力低下問題と図書館利用のススメ、倉吉東高国際バカロレアと図書館」と題して、ご講演いただきました。

まず、2003年のPISAショックと日本の読解力低下の現状を実際の問題を解きながら解説いただきました。また、長文読解における接続詞の意味やそれを踏まえた要約の方法について学びました。

続いて、学習指導要領における図書館の位置付けや重要性についてお話いただきました。教科横断的に図書館を活用することの重要性や情報活用能力の育成など、学校現場における図書館の存在意義について考えることができました。

最後に、倉吉東高校に国際バカロレアを導入した経緯やその教育内容、中心となる探究活動と図書館とのかかわりについてお話いただきました。教育活動に欠かせない施設・機能として図書館が位置づけられていることに大きな期待が持てました。



## 第28回 鳥取県図書館大会

[とっとり県民がレジャー活動講座]

## 図書館にできること再発見

～本と人をつなぐために～

日時

令和5年 8月1日(火) 10時～15時30分 (受付 9時30分～)

会場

とりぎん文化会館 (鳥取市尚徳町 101-5 電話: 0857-21-8700)

鳥取県立図書館 (鳥取市尚徳町 101 電話: 0857-26-8155)

参加費

鳥取県図書館協会 会員:無料 (当日、入会可)

会員外:会場参加・オンライン参加問わず500円(要事前申込)

[要申込]

〈会場参加〉

定員 500名

〈オンライン〉

最大 300台

\*基調講演 「地域と図書館 つなぐ・つながる」(10:15～11:35) 手話通訳・要約筆記あり



講師:田中 輝美 氏(鳥根県立大学 地域政策学部 准教授)

【講師プロフィール】鳥根県浜田市出身・在住。大阪大学文学部卒業後、鳥根県の地方紙・山陰中央新報社に入社し、ふるさとで働く喜びに目覚める。2014年、同社を退社し、ローカルジャーナリストとして地域のニュースを記録、発信している。著書に『関係人口の社会学』(大阪大学出版会)のほか、仲間と年刊誌『みんなでつくる中国山地』を創刊。

\*記念講演 「わたしと本と図書館と」(11:45～12:30) 手話通訳・要約筆記あり



講師:山田 節子 氏(鳥取県図書館協会会長/児童書を楽しむ会 つくしんぼ 代表)

【講師プロフィール】家庭文庫「きんたろう文庫」を運営する傍ら、長年にわたり、くらしの中に本と図書館のあるまちづくりを提言し、読み聞かせや講演を行うなど、子どもの読書推進に携わる活動を幅広く行っている。令和2年6月から2期にわたり鳥取県図書館協会会長を務めるほか、鳥取県子ども読書アドバイザーや多数の審議会委員等を歴任。

\*分科会(13:30～15:30)

※手話通訳を希望の方は申込時にお知らせください。  
※1)・2)・5)の分科会のみオンライン参加が可能です。

分科会

1)事例発表:地域とつながる公共図書館

発表者:鳥取市立気高図書館

北栄町図書館

境港市民図書館

コメンテーター:田中輝美氏(前出)

2)事例発表:学校図書館の新たな挑戦

～県学校図書館支援センターと手をつないで～

発表者:伯耆町立二部小学校

三朝町教育委員会

鳥取県学校図書館支援センター

3)【学び方体験】広げよう!読書の

カタチと楽しみ:英語学習から

見えてきたディスレクシア(読

み書き障がい)への寄り添い方

講師:丸山敦子氏(あいず

イングリッシュスクール主宰)

4)一緒に楽しむ絵本のじかん&amp;やって

みよう!子どもが喜ぶグッズづくり

講師:山田節子氏(前出)

ワークショップ:鳥取県教育委員会

事務局社会教育課

特別分科会

5)本の学校文化祭

ブックスタートの23年 日本で

の取り組み/世界へのひろがり

講師:佐藤いづみ氏

(NPOブックスタート理事)

～認定NPO法人本の学校主催～

【申込締切】

7月25日(火)

※オンライン参加の申込は

7月18日(火)まで

申込書は裏面へ

【問い合わせ先】鳥取県図書館協会事務局(鳥取県立図書館内)

電話:0857-26-8155 FAX:0857-22-2996 メール:toshokan@pref.tottori.lg.jp

主催:鳥取県図書館協会 共催:鳥取県公共図書館協議会 鳥取県学校図書館協議会 鳥取県書店商業組合 鳥取県立図書館

後援:公益社団法人日本図書館協会

## 【報告】第28回 鳥取県図書館大会

- 1 大会テーマ 「図書館にできること再発見～本と人をつなぐために～」
- 2 主催 鳥取県図書館協会
- 3 共催 鳥取県公共図書館協議会 鳥取県学校図書館協議会  
鳥取県書店商業組合 認定NPO 法人本の学校 鳥取県立図書館
- 4 後援 公益社団法人日本図書館協会
- 5 期日 令和5年8月1日(火)
- 6 会場 とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町101-5 電話:0857-21-8700)  
鳥取県立図書館(鳥取市尚徳町101 電話:0857-26-8155)
- 7 参加者 282名(会場:217名、オンライン65名)
- 8 日程・内容

## (1) 開会行事

挨拶:鳥取県図書館協会 会長 齋藤明彦  
鳥取県教育委員会事務局 次長 林憲彰  
鳥取市教育委員会事務局 副教育長 岸本吉弘

## (2) 基調講演

演題:「地域と図書館 つなぐ・つながる」  
講師:田中輝美氏(鳥根県立大学 地域政策学部 准教授)

## (3) 緊急企画

特別対談:「鳥取県図書館協会長×鳥取県立図書館長に聞く」  
講師:齋藤明彦氏(鳥取県図書館協会長)、小林隆志氏(鳥取県立図書館長)  
進行:高橋真太郎氏(鳥取県立図書館支援協力課長)

※当初予定していた記念講演「わたしと本と図書館と」は、講師の山田節子氏(児童書を楽しむ会つくしんぼ代表)の体調不良により中止になり、急遽特別対談を実施した。

## (4) 分科会

	テーマ	講師・発表者等
1	【事例発表】地域とつながる公共図書館	<コーディネーター> ・岩崎武史氏(鳥取県立図書館) <コメンテーター> ・田中輝美氏(前出) <実践事例発表> ・鳥取市立気高図書館・北栄町図書館・境港市民図書館
2	【事例発表】学校図書館の新たな挑戦～県学校図書館支援センターと手をつないで～	<コーディネーター> ・砂場路子氏(鳥取大学附属小学校副校長) <実践事例発表> ・伯耆町立二部小学校・三朝町教育委員会 ・鳥取県学校図書館支援センター
3	【学び方体験】広げよう!読書のカタチと楽しみ:英語学習から見えてきたディスレクシア(読み書き障がい)への寄り添い方	<講師> ・丸山敦子氏(あいぞうイングリッシュスクール主宰)
4	【ワークショップ】一緒に楽しむ絵本のじかん&やってみよう!子どもが喜ぶグッズづくり	<講師> ・鳥取県教育委員会事務局社会教育課 ※講師の山田節子氏は体調不良のため欠席。
5	【特別分科会: 本の学校文化祭】 ブックスタートの23年 日本での取り組み/世界へのひろがり	<講師> ・佐藤いづみ氏(NPOブックスタート理事) ※主催:認定NPO 法人本の学校



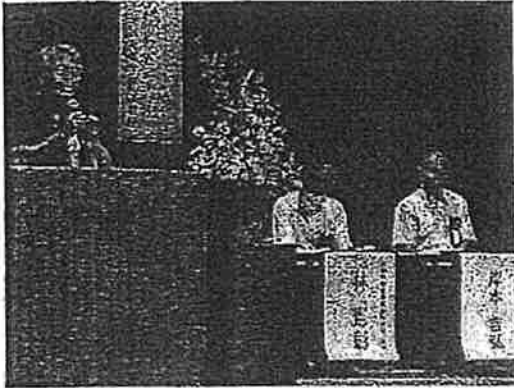
9 日 程

9:30 10:00 10:15 11:35 11:45 12:30 13:30 15:30

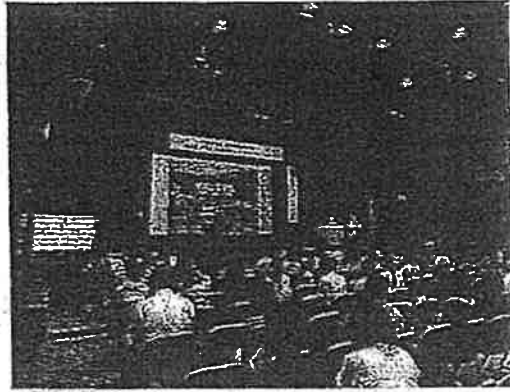
受付	開会 行事	基調講演	休憩	特別対談	休憩	分科会
----	----------	------	----	------	----	-----

- 10 参加費 鳥取県図書館協会の会員は無料(当日、入会可) ※施設・団体会員は所属職員1名無料  
※会員外の方は会場・オンライン参加問わず500円(資料代)。
- 11 開催方式 会場参加、及びオンライン参加(全体会及び、分科会1・2・5について配信を行う)
- 12 手話通訳・要約筆記等について  
・全体会：手話通訳・要約筆記をつけた。  
・分科会：第1分科会に要約筆記をつけた。(申込時に希望があったもの)
- 13 主なアンケート(自由記述)  
・久しぶりの現地開催の大会でした。沢山勉強になりました。  
・対面で参加できて良かったです。
- <基調講演>  
・人口減少の時代、減る、減退の時代の中で、図書館にできることが十分にあるのだという可能性を見いだせる講演でした。  
・幸せな地域社会づくりにおける図書館の在り方がよく分かった。あるものをどう活かすかという発想の転換やアイデアで、学びも、人のつながりも豊かになり、結果的により良い地域づくりにつながっていくことが、たくさんの事例を通して具体的に理解できた。  
・図書館は住民の知の拠点であり、コミュニティをつなぐ場でありたい、そしてそのためにも連携ということがキーワードになると強く感じました。
- <特別対談>  
・協会の存在意義がわかり良かったです。ネットワークについて努力を続けることが大切だということが分かりました。  
・司書として県内で働き始めたときから、鳥取県の図書館のネットワークに助けられてきました。これを維持するために、今後も努力が必要という小林館長の言葉が印象に残りました。  
・「ネットワーク」「連携」などこれからもっと大事につなげて大きくしていく必要があるなと思いました。
- <分科会1>  
・地域、利用者の方との交流や繋がり、声を大切にされていることがよく伝わり、ボランティアや応援団のアイデアを活かした運営がとてもステキでした。またそれが可能であることを教えて頂きました。  
・それぞれの図書館へ行ってみたい。地元の人は幸せ。自発的に協力されるのは素晴らしい。地域を巻き込んで一緒になってよい図書館を作り上げて行かれる若いブレーンに素晴らしいさを感じた。
- <分科会2>  
・素晴らしい実践の紹介をありがとうございました。改めて、学校図書館だけでなく周りとの連携が大切なことを感じました。自校の状況や児童に合わせた図書館作りをしていきたいと思いました。  
・学校図書館のいろいろな事例を聞くことができてよかったです。学校図書館に勤務する者として、学校図書館支援センターの存在は心強いものだと改めて感じました。
- <分科会3>  
・初めて知ったことが多かったです。個人それぞれに寄り添う大切さ等、大切な事が分かりました。  
・図書館で読み書き困難のある方への寄り添い方(大人・子ども)をより一層深めたいと思いました。  
・指導者が気づき、見つけることで子どもたちの可能性が広がることがよくわかり、もっと深く知りたいたいと思いました。
- <分科会4>  
・手を動かし、手遊びや絵本の読み聞かせをいただきよい刺激になりました。ほかの図書館さんのお話しも聞けてよかったです。  
・バッジ作りや豆本作りなど、楽しく手を動かしたり、各所の取組を聞くことができて勉強になった。
- <分科会5>  
・本を読むことの原点について考えることができて、今後子どもたちに本との関わり方を伝えていきたいです。  
・ブックスタートの歴史を改めて学ぶことができて、市民の方と協働してまちづくりを行ってきたいです。読み聞かせの大切を改めて伝えていきたいと思いました。

<写真>



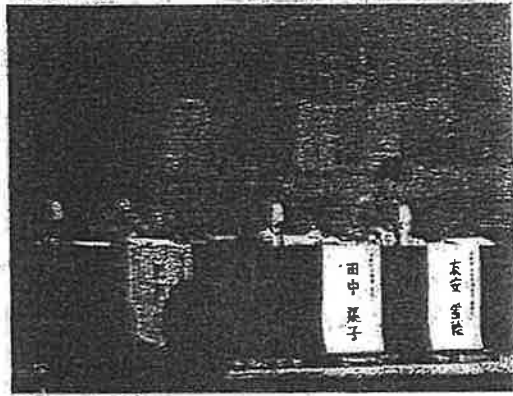
【開会行事】



【基調講演】



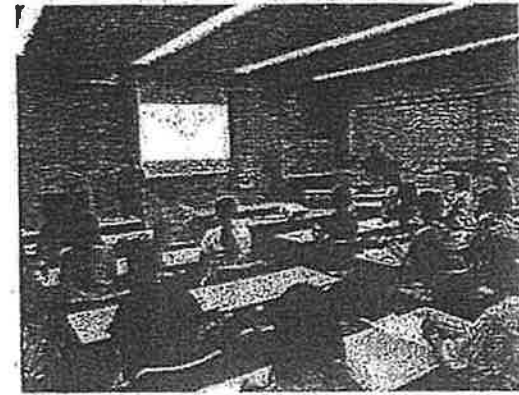
【特別対談】



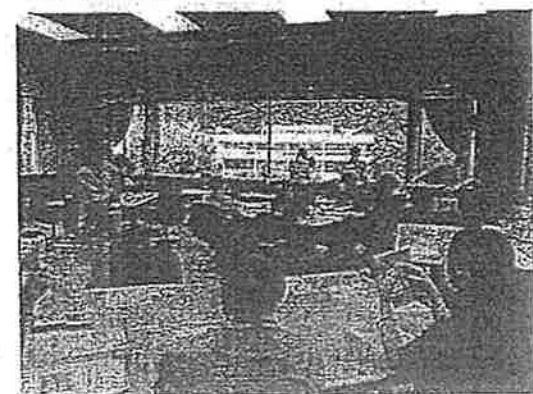
【第1分科会】



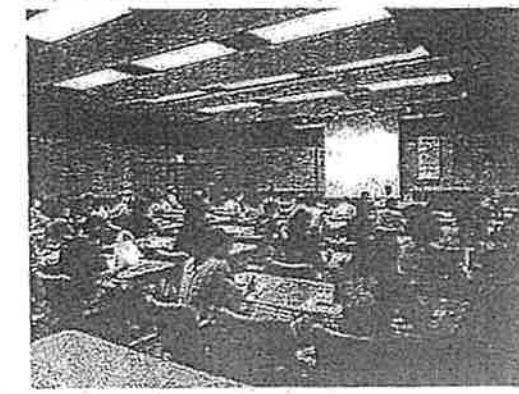
【第2分科会】



【第3分科会】



【第4分科会】



【第5分科会】

鳥取県図書館協会 主催

## 県内図書館視察

令和5年11月13日(月) 13:10~16:30

- 参加対象 鳥取県図書館協会の個人・施設・団体会員限定(施設・団体からは各1名)
- 参加費 無料
- 集合場所 鳥取県立倉吉未来中心 正面入口(倉吉市駄経寺町212-5)
- 定員 30名(※先着順のため、お早めにお申し込みください。)
- 集合時間 午後1時10分(受付開始:午後0時45分から)

13:20 出発 貸切バス移動

13:25~14:10 県立倉吉東高等学校 学校図書館

今年度創立115年を迎える中部地区の歴史ある伝統校。全日制普通科と定時制普通科(夜間)を有する。国際的な視野を持ち社会に貢献する人材の育成を目指し、早くから探究的な学習やICTを活用した教育活動に取り組んでいる。

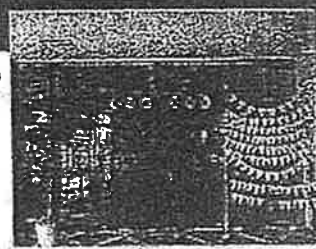
2023年9月、公立高校としては日本海側で初の国際バカロレア(IB)ディプロマ・プログラム(DP)認定校となる。



貸切バス移動

14:30~15:15 北栄町図書館

北栄町図書館(本館)は、町立図書館(町合併による改名有)として30周年を迎えました。昨年度、町民による「アンケート」や「夢の図書館プロジェクト」等の意見を取り入れ、本館内のプチリニューアルを実施しました。主な内容として、1階に「キッズコーナー」の設置、2階(2部屋)の一般開放等があり、現在も「地域とつながる・居心地のよい図書館」を目指し、チームで実践しています。



貸切バス移動

15:30~16:15 北栄町立北条中学校 学校図書館

本校では、生活の中で図書館を身近に感じ、様々なことに興味や関心を高められるように工夫しながら活動しています。

校内に特設コーナーを設置し、「今日は何の日」や「月テーマ」に関する本の紹介や展示をしたり、新聞コーナー、進路コーナー等、日々更新し、多様な要望に応えられる図書館を意識しています。



貸切バス移動 16:30 解散(鳥取県立倉吉未来中心)

悪天候等の事情により中止となる場合は、当日の朝7時に県立図書館ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

表面の参加申込書にて11月6日(月)までにお申込みください。

## 県内図書館視察報告

令和5年11月13日(月) 県内図書館の視察を行いました。

### ■鳥取県立倉吉東高等学校

倉吉東高等学校では、「図書館に関する方針」を今年の8月に制定し、学校における図書館の位置付けや目指すがたなどが明確に示されています。そして、異動により担当者が交代されても対応可能なように取組をされていました。

また、図書館の環境整備においても充実を図り、生徒のタブレットで校内の蔵書検索も一括して可能となったり、オンラインデータベース等の利用も可能となったりしています。機能面においても、各種コーナーの新設や充実を図るなど、生徒に分かりやすく利用しやすい環境づくりや館内企画展示(国際バカロレア関連など)がなされていました。



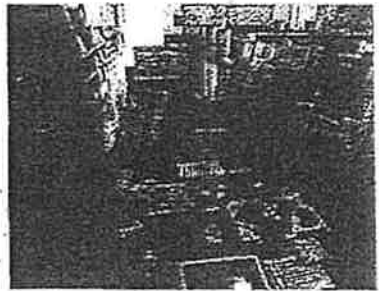
### ■北栄町図書館

今年開館30周年を迎えられた北栄町図書館は、由良駅から続くコナン通りに面しており、住民の方等の憩の場となるような良い立地です。

ホームズに扮するコナン君を仰ぎながら中に入ると、館内がとても明るく、光を取り入れるよう工夫された設計に感動しました。

また、町民の方による「アンケート」や「夢の図書館プロジェクト」の意見を基にリニューアルされたとのことで、1階には「リラックスコーナー」、「キッズコーナー」、2階には「みんなのへや」等使いやすいうように整備されていました。最近設けられたという、カウンター前の「ハートフルコーナー」も見てみたいくなります。

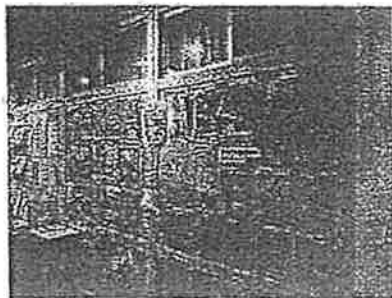
本当に「地域とつながる居心地のよい図書館」だと実感しました。



### ■北栄町立北条中学校

今年度、学校司書と司書教諭の支援のもとで、図書委員会を中心とした生徒による主体的な取組が認められ、「子供の読書活動優秀実践校」で文部科学大臣表彰を受けられました。

今回の視察において、様々な活動を見聞した中から特に印象に残ったのは、月1回「全校新聞の日」等の新聞を活用した取組や、新着図書のPOP展示や学級文庫の本の選定などで分類にこだわり、幅広いジャンルの本に触れるような工夫をされていたところです。さらに季節や時事、学習内容に合わせた本の紹介や掲示など、生徒が読書意欲を高め、必要な書籍を探し出せる環境整備等も丁寧に行われていました。今回の視察により、受賞について大いに納得でき、参考にしたい好事例だと思いました。



令和5年度 県外研修会参加費等助成事業 助成候補研修会 助成実績

対象	研修会名	開催方法	開催地	開催日	参加費等			必要費用	一人当たり の助成金額	助成 予定 人数	助成予定 総額	助成 実績	備考
					参加費 (数百円)	往復交通費 (数百円)	宿泊費						
1 公共・学校・ 大卒等・ ボランティア等	2023年度(第108回)全国図書館大会	会場	岩手県	11/16(木)・11/17(金)	7,000	111,200	19,600	137,800	110,240	1	50,000	50,000	
2 公共・学校・ 大卒等・ ボランティア等	図書館総合展2023	会場	横浜市	10/24(火)・10/25(水)	0	31,960	21,600	56,760	47,606	1	48,000	48,000	
3 公共	2023年度全国公共図書館研究集会 サード部門及び総合・技術部門	会場	和歌山県	2日間	3,000	17,580	19,600	40,180	32,144	1	33,000	0	
4 公共	全国公共図書館研究会 児童・青少年部門	会場	長野県	12/14(木)・12/15(金)	3,000	48,700	18,600	71,300	57,940	1	50,000	0	
5 公共	令和5年度中国・四国地区図書館地区別研修	会場	鳥取県	4日間	0	0	最大 9,600	28,400	28,400	3	88,200	0	交通費助成なし、宿泊費(3泊分)を10割助成
6 学校	第33回中国地区学校図書館研究会	会場	島根県	2日間	4,000	0	最大 9,800	13,800	13,800	3	41,400	0	交通費助成なし、参加費・宿泊費(1泊分)を10割助成
7 公共等	準デジタル・アーカイブ資格取得講座	オンライン	飯塚市	年間5回程度	20,000	0	0	20,000	18,000	1	16,000	0	
(合計)									11	328,600	98,000	100,000の給予算	

旅費助成の考え方

- ・参加費は前回研修の参考金額
- ・旅費は鳥取県の旅費規程の例により積算
- ・交通費は倉吉市を起点に鉄道で計算
- ・旅費+参加費のおおよそ8割を目途に計算し、上限を5万円とする。

## 第29回 鳥取県図書館大会 開催要項

## 1 大会テーマ 「つなぐつながる図書館の未来～ともに考える多様な学び～」

社会教育施設や社会福祉施設、書店やボランティア団体など、図書館がつながることのできるパートナー（協力者）が社会にはたくさん存在します。図書館の枠を越えて「つなぐ・つながる」ことが、これからの図書館の可能性をどう広げていくのか。連携についてみんなで一緒に考えましょう。

2 主 催 鳥取県図書館協会

3 共 催 鳥取県書店商業組合、認定NPO法人本の学校、鳥取県学校図書館協議会  
鳥取県公共図書館協議会、鳥取県立図書館

4 後 援 公益社団法人日本図書館協会

5 期 日 令和6年7月31日（水）

6 会 場 エースパック未来中心（鳥取県倉吉市駄経寺町212-5 電話：0858-23-5390）  
倉吉交流プラザ（鳥取県倉吉市駄経寺町187-1 電話：0858-47-1181）  
※受付はエースパック未来中心小ホール入口

## 7 内 容

## (1) 開会行事

挨拶：鳥取県図書館協会 会長 齋藤明彦  
鳥取県教育委員会事務局中部教育局 局長 加嶋慎一 氏  
倉吉市教育委員会 教育長 中田寛 氏

## (2) 基調講演

演題：「連携の多様性が生み出す図書館の未来」  
講師：森いづみ 氏（県立長野図書館 館長）  
＜プロフィール＞

1991年、東京大学附属図書館に入職。三重大学附属図書館、国立情報学研究所、お茶の水女子大学附属図書館を経て、2017年から信州大学附属図書館副館長。ICTの発展・浸透に伴い「学び」が大きく変わる中、図書館における「情報リテラシー教育」、新たな学びの空間である「ラーニング・コモンズ」、研究成果の「オープンアクセス」などに関わってきた。

県内文化施設（美術館・歴史館・図書館）と大学との協働による「信州 知の連携フォーラム」がきっかけで、2020年から現職。「資料・情報」「空間・場」「人」の3つの視点による図書館改革を引き継ぎ、全ての人に開かれた「共知・共創の広場」づくりに取り組んでいる。

## (3) 事例発表「つながりのきっかけを見つけよう！ 類縁機関活動紹介」

発表者：三浦努 氏（鳥取県立美術館 学芸担当参事）  
北園香織 氏（鳥取県男女共同参画センター 情報アドバイザー）  
坂西理之 氏（鳥取県立船上山少年自然の家 指導担当係長兼社会教育主事）

コーディネーター

山下孝治 氏（鳥取県教育委員会事務局中部教育局 社会教育担当係長兼社会教育主事）

## (4) 分科会

	テーマ	内容	講師・発表者等
1	ICT 活用の先に見える新しい読書と学びのカタチ	ICT の活用が、社会での情報活用や学校での学び、読書活動等にどんな影響をもたらすのか。鳥取県の現状を踏まえつつ、その先に読書や学びの在り方を考える。	登壇者：横山順一氏（鳥取県教育センター所長）、麻田真氏（鳥取県立倉吉東高等学校司書主任）、三田祐子氏（鳥取県教育委員会事務局社会教育課生涯学習推進担当係長）
2	読書バリアフリーについて考える～必要とする人に適切な方法で～	図書館における読書バリアフリーサービスが「読書バリアフリー法」成立後、大きく前進している。図書館現場で何が必要とされているのか。利用者、学校、公共図書館の協働で実現できることを考える。	登壇者：谷口慎二氏（鳥取県見えにくい人を考える会副会長）、古田晶子氏（鳥取県立鳥取聾学校司書）、前田晶子氏（倉吉市立図書館主幹）、コーディネーター：藤井美華子氏（琴浦町図書館係長）
3	源氏物語から考える古典の楽しみ方	『源氏物語を読んでみよう～紫式部が伝えたかった「大切なこと」～』の著者中永氏を招き、源氏物語を題材として古典の魅力や楽しみ方について話していただく。	講師：中永廣樹氏（元鳥取県教育委員会教育長）
4	あらためて、まちの書店を考えよう（主催：本の学校文化祭実行委員会）	今、まちから書店がなくなりつつある。出版業界にも変革が迫られているなか、図書館と書店の共存共栄は可能か。挑戦する書店の実践をもとに、書店の未来を考えたい。	登壇者：佐藤友則氏（株）総商さとう 代表取締役）、柴野京子氏（上智大学教授）、梶原治樹氏（扶桑社販売局局長）
5	図書館応援団大交流会（主催：交流会実行委員会）	図書館活用や読書振興のために活動する団体の情報交換会を開催する。応援団にできることや、住民参加型の図書館運営について考える。※応援団活動に関心のある方もご参加いただけます。	参加予定応援団の所属自治体：境港市、江府町、智頭町ほか

## 8 日 程

時間	内容
9時30分から10時まで	受付
10時から10時15分まで	開会行事
10時15分から11時45分まで	基調講演
11時45分から13時15分まで	休憩
13時15分から14時45分まで	事例発表
14時45分から15時まで	休憩
15時から16時30分まで	分科会
※第4分科会は17時30分終了を予定しています。	

※開催方法の変更や中止などのお知らせがある場合には、当日午前7時を目途に鳥取県立図書館ホームページに掲載します。

9 参加対象 県民のみなさん、県内公共図書館関係者、県内学校図書館関係者、幼稚園・保育所関係者、家庭文庫・読み聞かせボランティア等

10 参加費 鳥取県図書館協会の会員：無料（同時入会可：年会費一口2,000円以上：入会した場合の大会参加費は無料）

会員外：会場・オンライン参加問わず参加費 500 円。

※施設・団体会員は団体・施設ごとに1名が無料。

※オンライン参加者は無料でデータをダウンロードできますが、会員外で紙資料を希望する方には送料等 215 円を本人負担で郵送します。(会員で紙資料を希望される方には無料で郵送します)

※支払い：会場参加の方は当日受付で、オンライン参加の方は7月17日(水)までに振込でお支払いください。

振込先：〈郵便振替〉口座番号：01360-5-93397 口座名：鳥取県図書館協会

11 開催方式 会場参加、及びオンライン参加

※オンライン配信はZoomで実施予定です。(後日の配信はなし)

全体会は全編配信し分科会は第1~4分科会の配信を行います。第5分科会の配信はありません。

12 定員：会場参加 300名 オンライン参加 300台 ※個人視聴のみ

13 申込締切 7月24日(水) ※オンライン参加の申込は7月17日(水)

14 問合わせ先・申込先・申込方法

【問合わせ先】鳥取県図書館協会事務局(鳥取県立図書館内)

電話：0857-26-8155 ファクシミリ：0857-22-2996

電子メール：[toshokan@pref.tottori.lg.jp](mailto:toshokan@pref.tottori.lg.jp)

【申込先】第29回鳥取県図書館大会実行委員会事務局 町立みささ図書館

〒682-0121 鳥取県東伯郡三朝町大瀬999-2

電話：0858-43-1145 ファクシミリ：0858-43-1343

電子メール：[book@town.misasa.tottori.jp](mailto:book@town.misasa.tottori.jp)

【申込方法】QRコードからGoogleフォームでお申込みください。

※Googleフォームが利用できない方は、チラシ裏面の申込用紙により、

町立みささ図書館へメール、またはファクシミリでお申込みください。

※チラシ(申込用紙)は鳥取県立図書館のホームページからダウンロードできます。

※Googleフォーム、メール、ファクシミリでの申込みが困難な方は、電話でご連絡ください。

【個人情報の取扱いについて】

提出いただいた個人情報は、本大会の運営の目的にのみ利用し、個人情報保護関連法令に基づく個人情報の対象として保護します。

申込用 Google フォーム  
QR コード



15 手話通訳・要約筆記等について

- ・全体会：手話通訳者と要約筆記者を配置します。
- ・分科会：申込時に希望をお伝えいただき、対応できる範囲で手話通訳者・要約筆記者を配置します。
- ・配布資料の拡大印刷やデータの提供等が必要な方はお知らせください。

16 情報交換会について

大会終了後午後6時から情報交換会を開催します。参加費：4,500円 定員：50人

会場：Cafe Source MID(カフェソース)(倉吉市上井町2丁目1-2 電話：0858-24-6565)



令和6年度 県外研修会参加費等助成事業 助成候補研修会 助成計画

対象	研修会名	開催方法	開催地	開催日	参加費等			必要費用 ×0.8	一人当たり の助成金額	助成 予定 人数	助成予定 総額	備考
					参加費	往復交通費 (名古屋市内)	宿泊費					
1 公共・福祉 大平孝 中野シズ子等	2024年度(第110回)全国図書館大会	会場	糸島県	11/30(土)～12/1(日)	0,000	44,000	19,600	70,000	50,000	1	50,000	
2 公共・福祉 外山・中野 女子等 中野シズ子等	図書館総合展2024	会場	横浜市	11/5(火)～11/7(木)	0	33,000	21,800	86,700	48,000	1	48,000	
3 公共	2024年度全国公共図書館研究会 サードメーカ部門及び総合・児童部門	会場	高知県	2日間	0,000	24,000	19,600	46,000	38,000	4	38,000	
4 公共	令和6年度中国・四国地区図書館協会の別開帳	会場	広島県	4日間	0	24,000	28,400	53,400	40,000	1	40,000	
5 福祉	第44回全国学校図書館研究会大会	会場	香川県	8/3(木)～8/9(金)	4,000	16,000	19,000	41,000	30,000	1	30,000	
6 公共等	デジタル・アーキビスト資格取得講座	オンライン	岐阜市	半日6回講座	20,000	0	0	20,000	15,000	1	15,000	
公共	全国公共図書館研究会 児童・青少年部門									0	0	開帳開催。2024年は開催なし。
									(合計)	6	228,000	100,000の件予算

旅費助成の考え方

- ・参加費は前回研修会の参考金額
- ・旅費は鳥取県の旅費規程の例により精算
- ・交通費は名古屋市を起点に鉄道で計算
- ・旅費十参加費のおおよそ日利益目安に計算し、上限を6万円とする。